

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒111-91
東京都浅草郵便局内
私書箱119号
TEL 03-3625-7307
発行責任者
運営委員長 宮戸征美

郵便振替口座
東京 5-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

移植実施へ着実な前進

登録制度整備すすむ財団

昨年12月18日に公的バンクとして発足した(財)骨髄移植推進財団は、12月25日に日赤に骨髄データセンターが開設され、移植の本格実施に向け諸整備をすすめています。

間、非血縁者間どちらの移植の場合も加入することができ

ドナー登録三千二百八人に

3月末現在の提供者(ドナー)の都道府県別登録者数は左表のとおりです。

「ドナー登録者数については、順調に推移していると判断しています。」と話されています。

善意信託「いぶき」開始

骨髄バンクのための善意信託「いぶき」が4月1日開始されました。預金された資金の利息分を財団がドナー募集等に役立たせるもので、預け入れは10万円以上、期間は5年と2年の2種類で、満期後元本が預金者に支払われます。

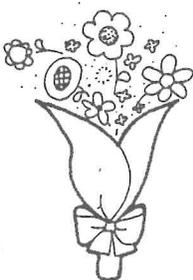
ドナー保険は五千万円

ドナーの万一の事故に備えた「骨髄バンク団体傷害保険」が補償されています。一手術あたり98,060円の保険料で、ドナーが移植のための医療処置で生じた障害と、移植のため自宅を出てから帰宅するまでの障害が対象となっており、死亡保険金(5千万円)を最高に、後遺障害、入院、通院の各保険金が支払われます。この保険は、血縁者

「患者登録は六月頃から」

財団事務局長に聞く

移植実施時期については、いつからと言うことは分らないが、6月頃から患者登録を開始する準備をしています。



都道府県別登録者数 (3月末現在)

都道府県	登録者数
北海道	291
青森	14
岩手	21
宮城	13
秋田	61
山形	20
福島	46
小計	175
茨城	45
群馬	40
栃木	60
埼玉	95
東京	66
神奈川	86
小計	236
新潟	1,410
富山	80
石川	11
福井	17
山梨	9
長野	14
岐阜	41
愛知	20
岐阜	67
小計	88
三重	347
滋賀	25
京都	41
大阪	94
奈良	158
和歌山	90
徳島	25
香川	13
小計	446
岡山	4
広島	16
山口	86
小計	151
鳥取	32
島根	289
小計	8
徳島	8
香川	13
小計	49
福岡	122
佐賀	4
長門	43
熊本	11
大分	6
宮崎	10
鹿児島	13
沖縄	2
小計	211
合計	3,218

広島県は、4月8日、骨髄バンクに県の職員が提供者として登録を希望した場合、検査や入院などの期間を職務専念義務を免除することと決まりました。

これによって、研修と同じ扱いとなり、年休を取る必要がなくなります。

対象者は知事部局の職員のほか、教職員や警察官にも適

「患者登録は六月頃から」
財団事務局長に聞く

「霧の中の生命」
大谷貴子著
リヨン社
1,400円

「生への扉」
慶山充夫著
あいわ出版
1,400円

第3回総会 ご案内

【日時】平成4年5月31日午前11:00~

【場所】江東区勤労福祉会館
(JR総武線亀戸駅下車)

骨髄バンク事業開始記念 公開シンポジウム

5/20 WED (水)
PM2:00~PM4:00
開場PM1:30

会場
ロッテ会館(3F・平安の間)
TEL 03-3625-5101
〒JF1総武線 亀戸駅前

入場無料
どなたでも参加
いただけます。

TEL 03-3625-7307
全国骨髄バンク推進連絡協議会

主催/ライオンズクラブ国際協会330-A地区第4R

共催/全国骨髄バンク推進連絡協議会 協力/公的骨髄バンクを支援する東京の会
後援/財団骨髄移植推進財団

感動に包まれた会場 骨髓バンク開始記念シンポ

2月23日 骨髓移植推進財団と全国協議会の共催による公開シンポジウムが、東京芝青年会館に約三百名の参加を得て開かれました。



司会の阿田氏

ごあいさつ

▼財団 高久副理事長
「全国協議会や患者家族の皆さんの働きかけで公的バンクが発足しました。一日も早く移植が行われるようご協力を願います。」

▼全国協議会 宮戸運営委員長
「橋本さんが全国にこの運動を始めてから、多くの方々の手により今日に至った。一つでも多くの命が救われるよう財団に協力していきたい。」

▼厚生省 寺松保健医療局長
「皆様方のご努力と協力により発足いたしました。この事業推進のため、厚生省をはじめ、関係機関が力を注いでまいります。」(外川課長補佐代読)



講演の加藤先生



パネル ディスカッション

▼骨髓液提供者(男性)
「子供のためにありがたう、という手紙をもらった。何万分の一のHLAが合ったのだから、他人の感じがしない。先祖が一緒だったかもしれない。」

▼骨髓液提供者(女性)
「痛みを伴うが、我慢できないほどではない。提供できるとても幸せな気持ちでいっぱい。患者さんから幸せの種をもらったと思ってる。」



座長の大谷氏

▼移植経験者の奥さん
「夫の病気を知った時二人目の子供がお腹にいた。半年後に提供者がいたと聞いた時は泣いて喜びました。今日この場にいられるのも提供者の方のおかげです。」

▼移植経験者
「病気になるまで初めて普段の生活の大切さがわかった。退院後、娘に『パパ、よそへいっちゃいやだよ』と言われ、胸があつく感じた。見ず知らずの提供者に本当に感謝したい。」



坂根事務局長



吉ヶ江弁護士

新組織でスタート 宮城骨髓バンク登録推進協議会

昨年十月発会した宮城骨髓バンク登録推進協議会(理事長・吉永肇)は、四月四日仙台市内で第一回公開シンポを開催。



パネル討論では、提供経験者である太田、池田両氏の貴重な体験談は聴衆に大きな感動を与え、陽田氏(いわき)の地域運動推進のあり方、また、遠藤一靖先生(移植医・コーディネーター)の分かり易い移植についての説明を司会の近藤氏(埼玉)が極めて的確にまとめ本シンポを盛り上げた。この機会に本協議会は全国加盟し、これからの活動を展開する。

信州ジャスコの協力を得て 長野つばさの会より

つばさの会より、信州ジャスコ(株)の協力を受けての活動状況の報告がありました。協力いただいた内容は、チャリティバザーでの会場提供、新聞折込広告への掲載(下記参照)、店内用ポスターの作成、財団パンフレットの店舗常備等でした。

各地でもこの様な活動を広げて欲しいと思います。



中野

ご紹介

皆様、はじめまして。私は、骨髓移植推進財団の職員とされた町田さんの後任として、全国協議会の事務局に勤務しております中野義樹と申します。骨髓バンク事業の発展のため、少しでもお役に立てればと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



上田

編集後記

今号からニュースづくりのお手伝いを笠原(埼玉)がすることになりました。どうぞよろしく。▼発行は毎月1回。紙面作りの柱は3つです。①財団の動きを紹介。②全国協議会の活動を報告。③各地の取り組みを紹介し交流の場とする。▼特に皆さんにお願いしたいのは③の記事や写真・資料等をどんどん事務局へ送ってもらいたいということです。ニュースの読者が作り手になって欲しいと思います。

血液の難病に希望の光を... 骨髓バンクに登録してください

白血病や再生不良性貧血など血液の難病に苦しむ人達を救うため、公的骨髓バンクが発足し、骨髓液提供者の登録制度がスタートしました。多くの皆様の登録をお願いします。

お問い合わせは
〒160 東京都新宿区新宿1-29-8公衛ビル
財団骨髓移植推進財団
TEL 03-3355-5041

〒306-07 小泉郡和田村583
つばさの会事務局
TEL 0268-88-2998

協力 JUSCO 信州ジャスコグループ

カンパ一覧は別刷にしました